

YAMAHA GEAR

ルーフキット組立・点検説明書

まえがき	1
組立方法	2
各部の調整方法	11
各部の点検方法	12
電装配線図	15
パーツカタログ	16
仕様諸元	18
点検整備項目	18

ご使用前に

ご使用前に『組立・点検説明書』を必ずお読みください。お読みの後は、いつでも参照できるように保管しておいてください。

まえがき

この組立・点検説明書はYAMAHA GEAR ルーフキットの組立、調整、点検整備要領について説明してあります。

なお、仕様変更などにより、図や内容がお求めいただいた製品と一致しない場合があります。ご了承ください。

- 本製品はパーキングスタンド装着車のYAMAHA GEAR「BX50S」にのみ装着してください。「BX50S」以外への装着はしないでください。
- ベース車両(GEAR)の整備要領については『YAMAHA GEAR サービスマニュアル』をご覧ください。
- 本製品にストップランプ付汎用ボックスを取付ける場合は、事前にベース車両(GEAR)からストップランプリード線を分岐させておいてください。

本書では正しい取扱いおよび組立・点検・調整に関する必要事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 一取扱いを誤った場合、死亡、重傷、傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 一取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要点 一正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

記載内容の説明

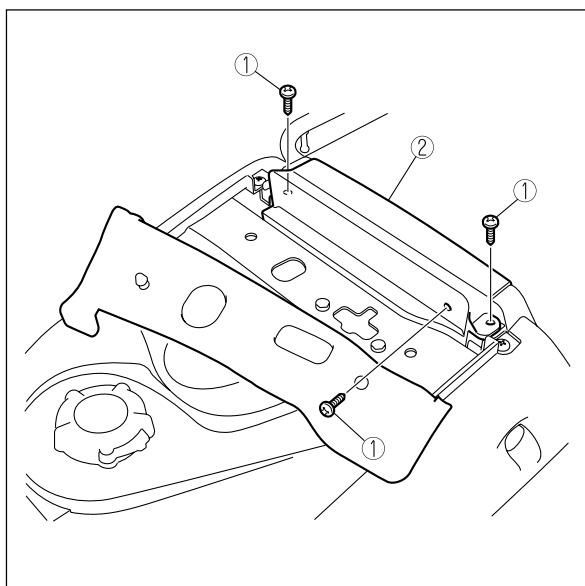
部品名称のサイズ表示は以下の意味を示しています。

例 1 ● スクリュー, タッピング ($\phi 5 \times 16$) ①
↑ ↑
ネジ部の長さ 16mm
ネジ呼び径 5mm

例 2 ● バンド ($\ell 202$)
↑
バンドの長さ 202mm

例 3 ● ボルト, フランジ ($M8 \times 20$) ① $7Nm$ ($0.7kg \cdot m$)
↑ ↑ ↑
締付けトルク
ネジ部の長さ 20mm
ネジ呼び径 8mm

組立方法



バッテリーリードの取外し

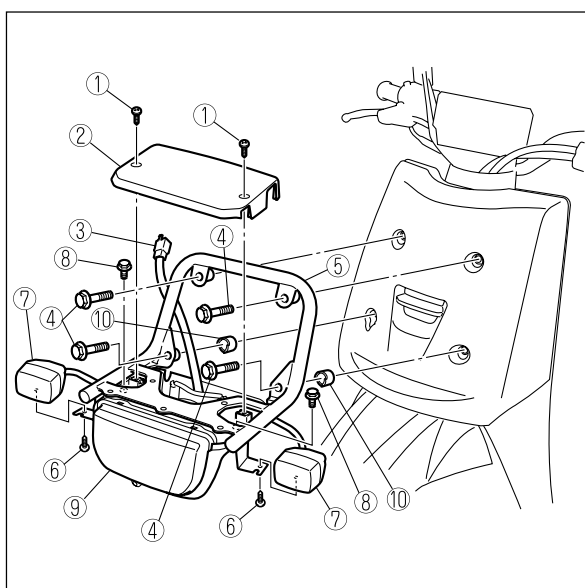
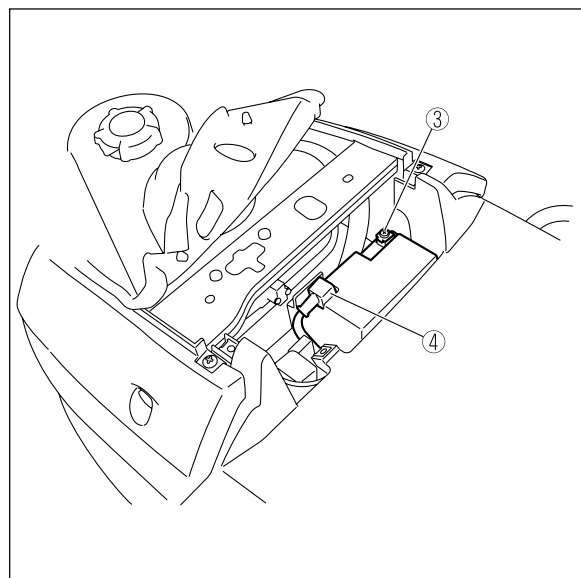
- 1.シートを開きます。
- 2.以下の部品を取外します。
 - スクリュ、タッピング (φ5×16) ①
 - カバー②
 - バッテリ⊖リード③
 - バッテリ⊕リード④

要 点

- 必ず⊖リードから取外す。
- 取外した部品は、再度組付けるので整理しておく。

注 意

作業中、配線のショートを防ぐために、必ずバッテリーリードを取外すこと。

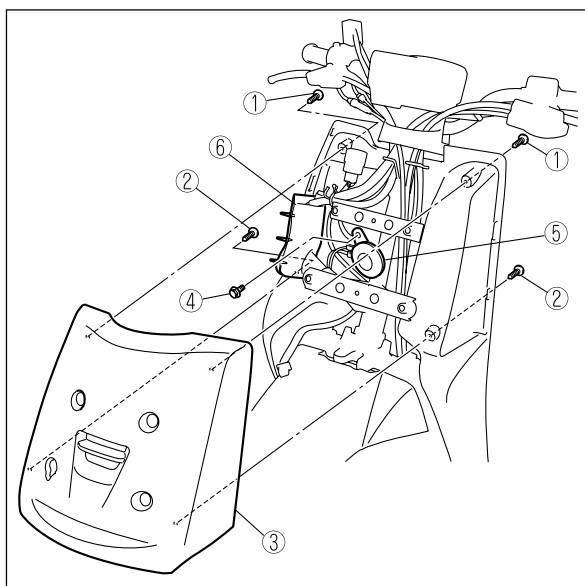


ヘッドライトステーの取外し

- 1.以下の部品を取外します。
 - スクリュ、タッピング (φ5×16) ①
 - ヘッドライトカバー②
 - ヘッドライトカプラ③
 - ボルト、フランジ (M8×50) ④
 - ヘッドライトステー⑤
 - スクリュ、パンヘッド (M5×12) ⑥
 - フラッシャー⑦
 - ボルト (M6×16) ⑧
 - ヘッドライト⑨
 - グロメット⑩

要 点

ボルト、フランジ (M8×50) ④、ヘッドライトステー⑤は本キットでは使用しない。

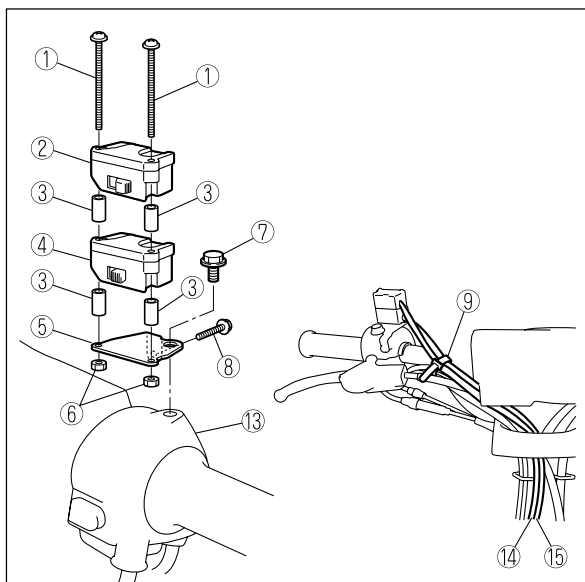


レッグシールドの取外し

- 以下の部品を取外します。
 - スクリュ、タッピングT-25 (φ5×16) ①
 - スクリュ、タッピング (φ5×16) ②
 - レッグシールド③
 - ボルト、フランジ (M6×12) ④
 - ホーン⑤
- 以下の部品を開きます。
 - コネクタカバー⑥

要 点

取外した部品は、再度組付けるので整理しておく。

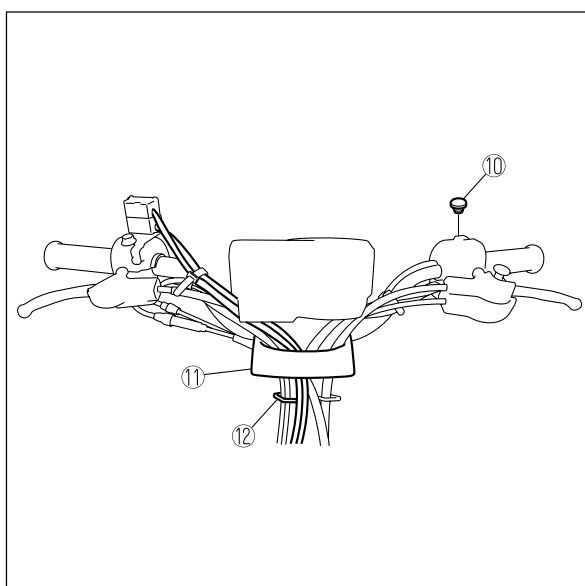


スイッチの組付け

- 以下の部品を組付けます。
 - スクリュ (M3×30) ① 2Nm(0.2kg・m)
 - スイッチ(ウォッシャー) ②
 - カラー③
 - スイッチ(ワイパー) ④
 - プレート⑤
 - ナット⑥
 - ボルト (M8×14) ⑦ 7Nm(0.7kg・m)
 - スクリュ、パンヘッド (M5×12) ⑧ 2Nm(0.2kg・m)
 - バンド⑨
 - プラグ、ブラインド⑩

注 意

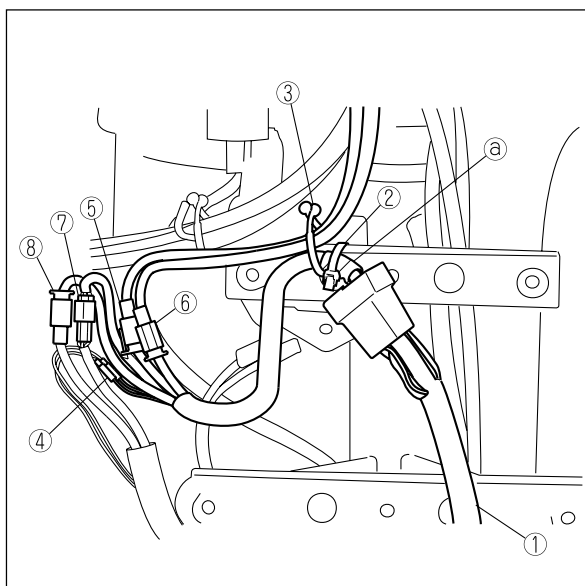
スイッチ (ワイパー) リード、スイッチ (ウォッシャー) リードはハンドルカバー⑪の内側を通し、ガイドワイヤ⑫内には通さないこと。
ガイドワイヤ内を通すとスイッチ故障の原因となる。



要 点

- ボルトは反時計回転方向に回して取付ける。(左ネジ)
- スクリュ、パンヘッドはハンドルスイッチ⑬を取付けているスクリュである。ハンドルスイッチから一度外してスイッチアセンブリを共締めする。
- 既存のバンドを外し、スイッチ (ワイパー) リード⑭、スイッチ (ウォッシャー) リード⑮を含んだ状態で再度クランプする。

組立方法



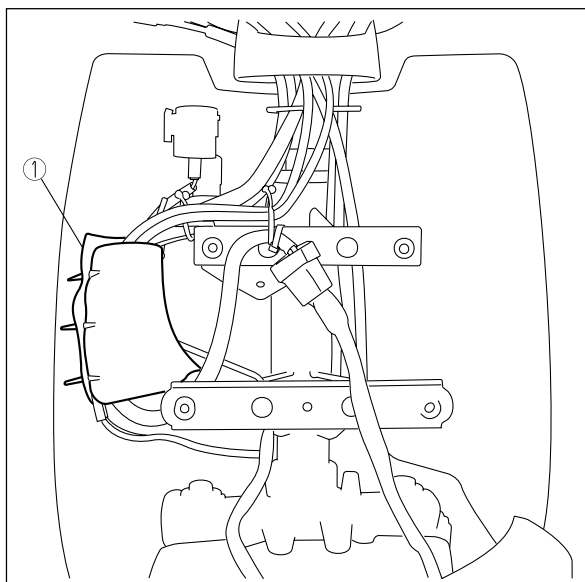
ワイヤ、リード1の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ワイヤ、リード1①
- バンド (φ202) ②
- クランプ③
- ホーンリード④
- スイッチ (ワイパー) リード⑤
- スイッチ (ウォッシャー) リード⑥
- 3極防水カプラ⑦
- 2極カプラ⑧

要 点

- ワイヤ、リード1の白テープ部⑩をバンドでフレームにクランプする。
- バンドの先端はカットする。
- ワイヤ、リード1、スイッチ (ワイパー) リード⑤、スイッチ (ウォッシャー) リード⑥をクランプでフレームにクランプする。

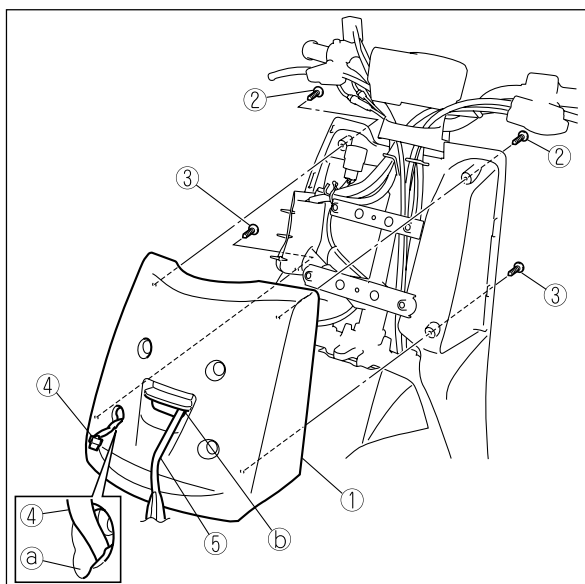


2. 以下の部品を組付けます。

- コネクタカバー①

要 点

接続したカプラをコネクタカバーの中に収める。



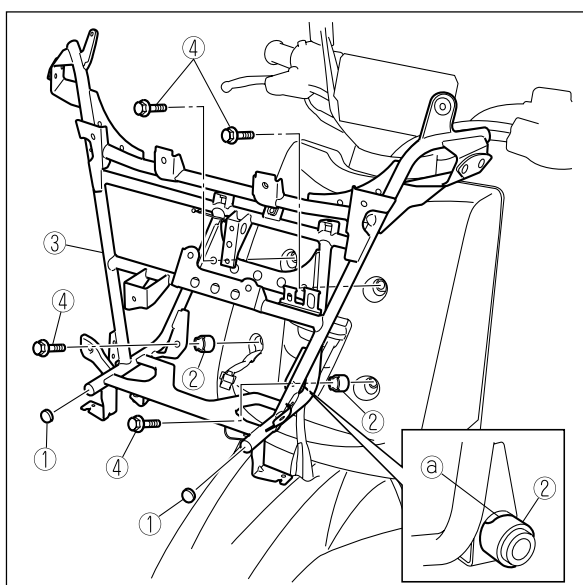
レッグシールドの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- レッグシールド①
- スクリュ、タッピングT-25 (φ5×16) ②
2Nm (0.2kg·m)
- スクリュ、タッピング (φ5×16) ③ 2Nm (0.2kg·m)

要 点

- ヘッドライトリード④はレッグシールド取付孔の切欠き部⑨を通す。
- ワイヤ、リード1⑤はレッグシールドの下側のスリット⑥を通す。



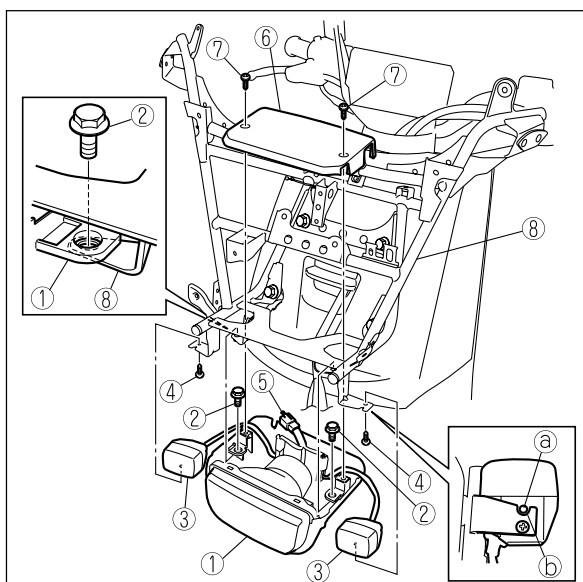
ステアー, 1の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- キャップ①
- グロメット②
- ステアー, 1③
- ボルト, フランジ (M8×45) ④ 16Nm (1.6kg・m)

要 点

- グロメットは『ヘッドライトステーの取外し』の項目で取外したものを使用する。
- グロメットは切欠き部Ⓐをステアー, 1の溶接ビードに合わせて組付ける。



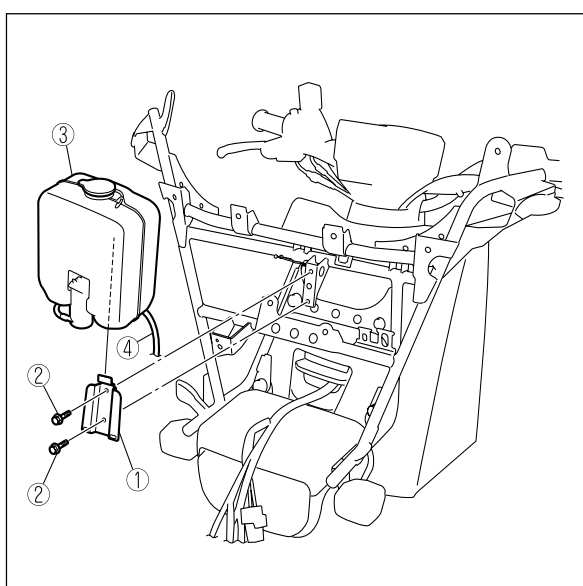
ヘッドライト、フラッシャーの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ヘッドライト①
- ボルト (M6×12)② 7Nm (0.7kg・m)
- フラッシャー③
- スクリュ, パンヘッド (M5×12)④ 4Nm (0.4kg・m)
- ヘッドライトカブラ⑤
- ヘッドライトカバー⑥
- スクリュ, タッピング (φ5×16)⑦ 2Nm (0.2kg・m)

要 点

- 上記部品は『ヘッドライトステーの取外し』の項目で取外したものでステアー, 1⑧へ再度組付ける。
- 茶色カブラのフラッシャーを左側へ、緑色カブラのフラッシャーを右側へ組付ける。
- フラッシャーの突起Ⓐとステアー, 1の切欠きⒷを合わせて組付ける。

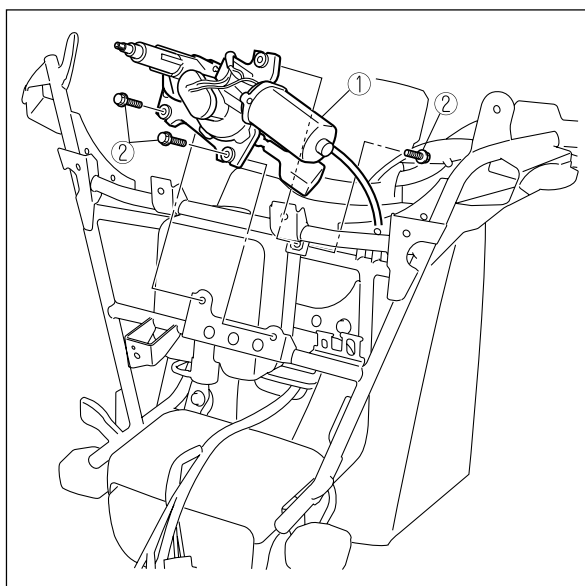


タンクアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- タンクブラケット①
- ボルト, フランジ (M6×10) ② 7Nm (0.7kg・m)
- タンクアセンブリ③
- ウォッシャーホース④

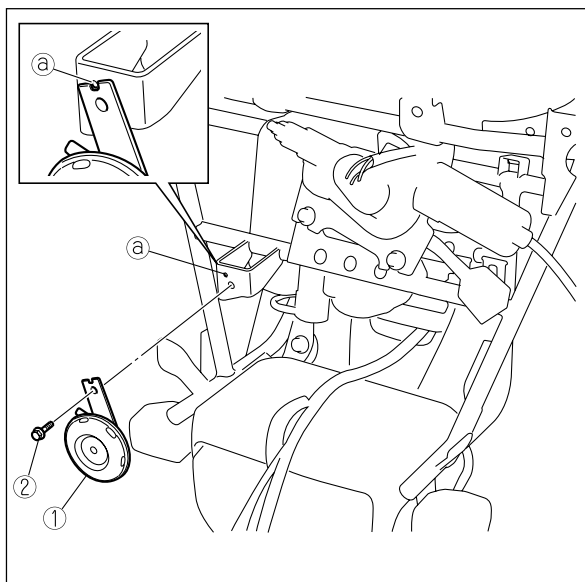
組立方法



ワイパーモーターアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ワイパーモーターアセンブリ①
- ボルト, フランジ (M6×16) ② 7Nm (0.7kg・m)



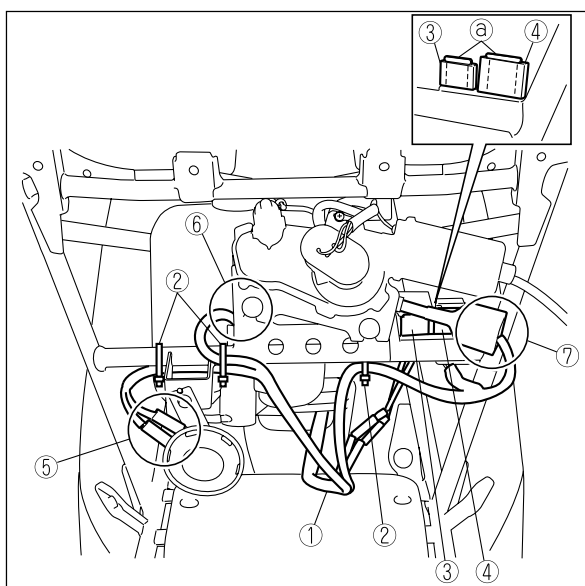
ホーンの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ホーン①
- ボルト, フランジ (M6×12) ② 7Nm (0.7kg・m)

要 点

- ホーンおよびボルト, フランジは『レッグシールドの取外し』の項目で取外したものを使用する。
- ステア, 1の突起②にホーンブラケットの切欠きを合わせて組付ける。



ワイヤ, リード1の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

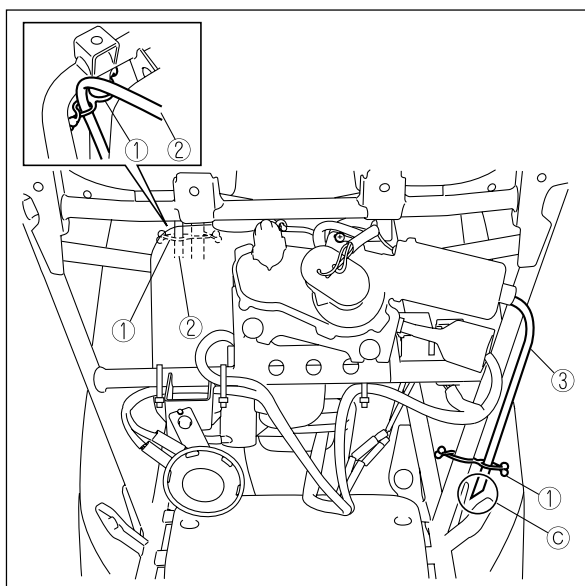
- ワイヤ, リード1①
- バンド (ℓ 202) ②
- フューズホルダアセンブリ③
- リレーアセンブリ④

要 点

- フューズホルダアセンブリ, リレーアセンブリはステア, 1の爪部②に差し込む。
- バンドの先端はカットする。

2. 以下の部品を接続します。

- ホーンリード⑤
- ウォッシャーポンプリード⑥
- ワイパーモーターリード⑦

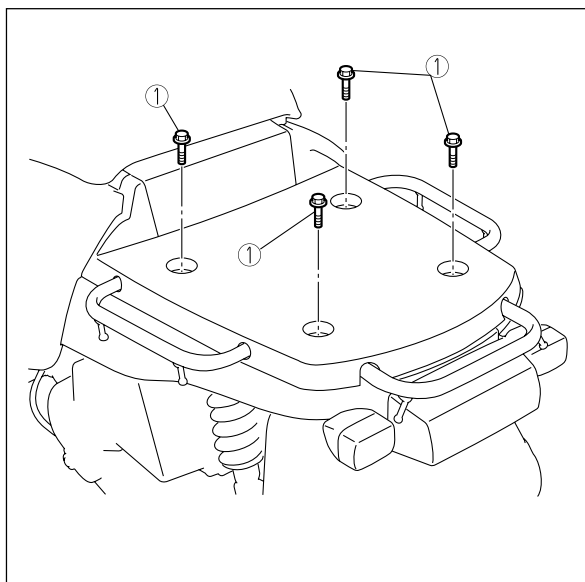


3.以下の部品を組付けます。

- クランプ①
- ウォッシャーホース②
- ワイパーモーターブリーザーホース③

注意

ワイパーモーターブリーザーホース先端◎は、必ず下向きにすること。水等が浸入すると破損の原因となる。



キャリアフレームアセンブリの組付け

1.以下の部品を取外します。

- ボルト, フランジ (M8×16) ①

要点

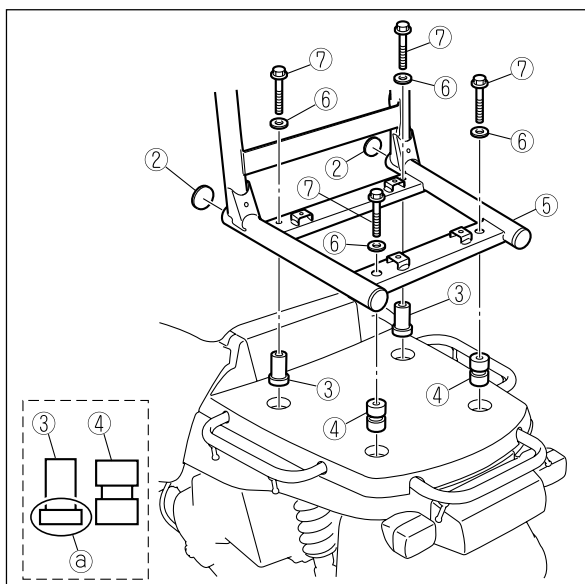
ボルト, フランジ①は本キットでは使用しない。

2.以下の部品を組付けます。

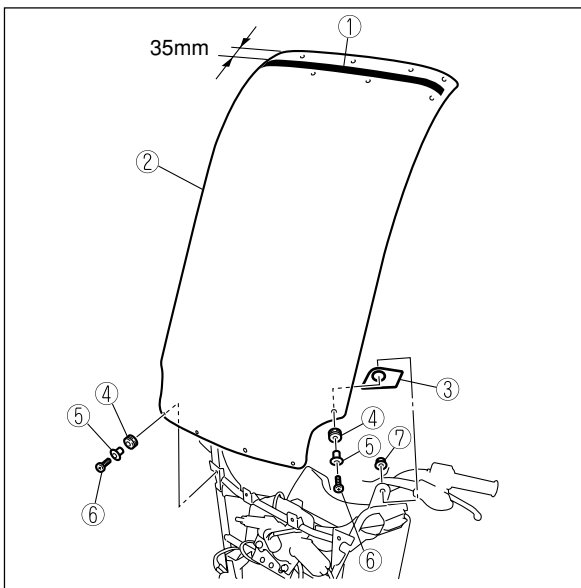
- プラグ②
- カラー③
- カラー, 2④
- キャリアフレームアセンブリ⑤
- ワッシャ, プレート⑥
- ボルト, フランジ (M8×55) 23Nm (2.3kg・m) ⑦

要点

- カラーはフランジ部◎を下側に向けて組付ける。
- プラグは瞬間接着剤等でキャリアフレームアセンブリへ接着する。



組立方法



ウインドスクリーンの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ダンパー①
ウインドスクリーンに貼付けます。

要 点

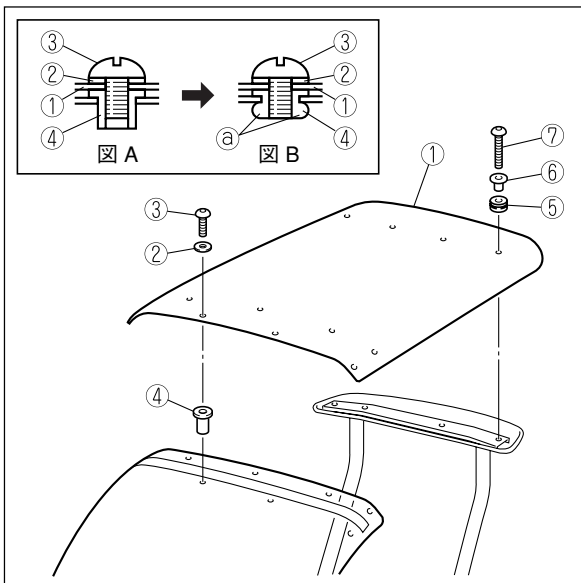
ダンパーは図の位置に貼付ける。

2. 以下の部品を組付けます。

- ウインドスクリーン②
- プレート, ラバー③
- グロメット④
- カラー⑤
- ボルト, ボタンヘッド (M6×25) ⑥ 7Nm (0.7kg・m)
- ナット, キャップ⑦ 7Nm (0.7kg・m)

注 意

ウインドスクリーンの組付けは、2人で作業し、ウインドスクリーンに傷が付かないように注意して組付けること。



パネル, 1の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

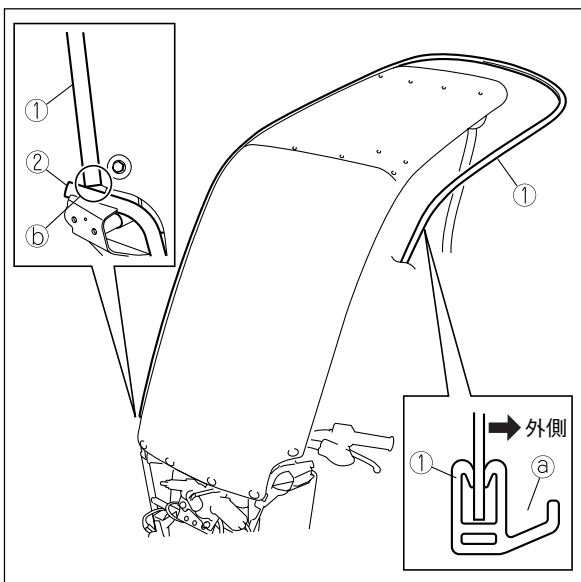
- パネル, 1①
- ワッシャ, プレート②
- スクリュー (M6×16) ③ 1Nm (0.1kg・m)
- ナット④
- グロメット⑤
- カラー⑥
- ボルト, ボタンヘッド (M6×25) ⑦ 7Nm (0.7kg・m)

注 意

パネル, 1の組付けは、2人で作業し、パネル, 1に傷が付かないように注意して組付けること。

要 点

ナットを図Aのように組付けた後、スクリューで締上げることで図Bのようにナット先端④をつぶしパネル, 1を固定する。



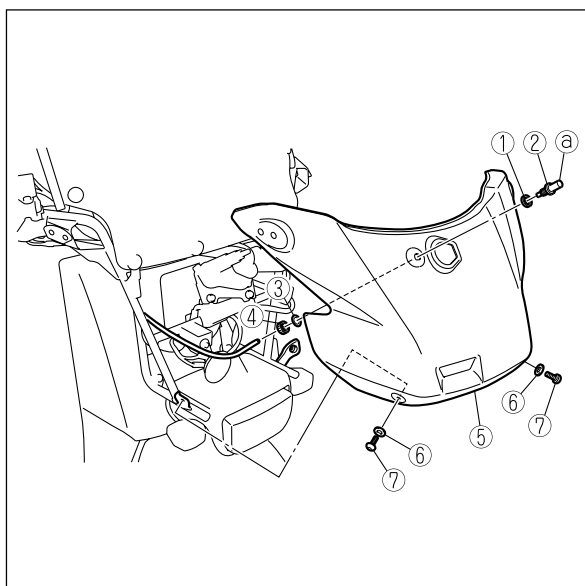
モール, 2の組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- モール, 2①

要 点

- モール, 2は溝①を外側に向けて組付ける。
- モール, 2の両端②はステー, 1③に接するように組付ける。
- モール長さが余った場合は、ニッパ等でカットする。



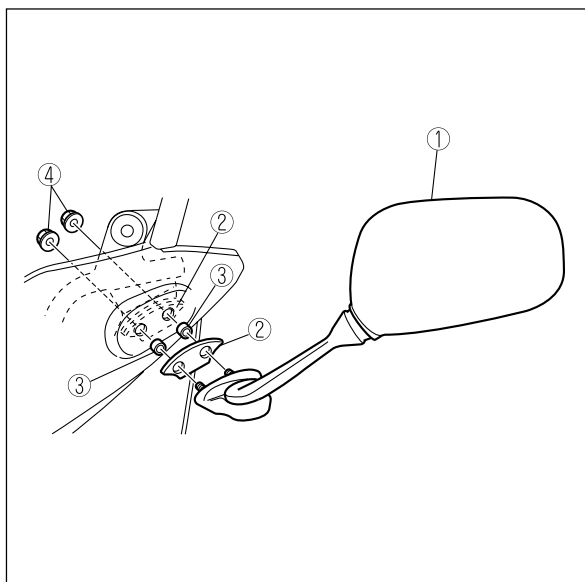
カウリングアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- ラバーワッシャ①
- ウォッシャーノズル②
- ワッシャ、プレート③
- ノズルナット④
- カウリングアセンブリ⑤
- ワッシャ、プレート⑥
- ボルト、ヘキサゴンソケットヘッド (M6×16) ⑦

要 点

- ウォッシャーノズルは噴射孔②を上側に向けて組付ける。
- バックミラーアセンブリを組付けるまではボルト、ヘキサゴンソケットヘッドは仮締めとする。



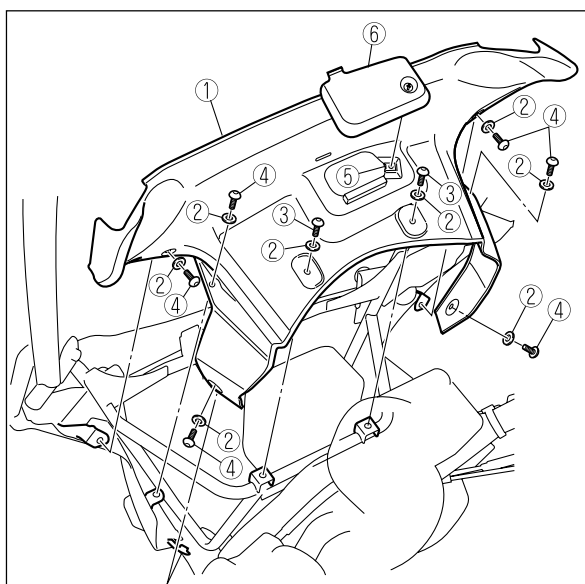
バックミラーアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- バックミラーアセンブリ①
- プレート②
- カラー③
- ナット、フランジ④ 7Nm (0.7kg・m)

要 点

- プレート②はバックミラーアセンブリの形状に合わせて組付ける。
- 「カウリングアセンブリの組付け」の項目で仮締めしたボルト、ヘキサゴンソケットヘッドを7 Nm (0.7kg・m) で締付ける。

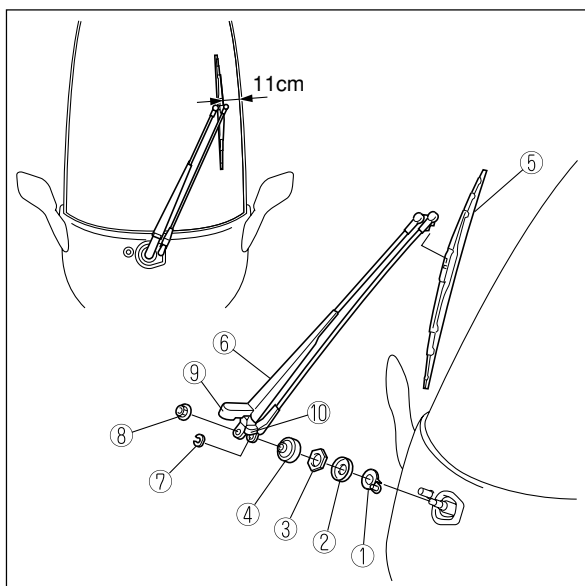


コンソールパネルアセンブリの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

- コンソールパネルアセンブリ①
- ワッシャ、プレート②
- ボルト、ボタンヘッド (M6×14) ③ 7Nm (0.7kg・m)
- ボルト、ボタンヘッド (M6×14) ④ 4Nm (0.4kg・m)
- ナット、スプリング⑤
- リッドアセンブリ⑥ 1Nm (0.1kg・m)

組立方法



ワイパーの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

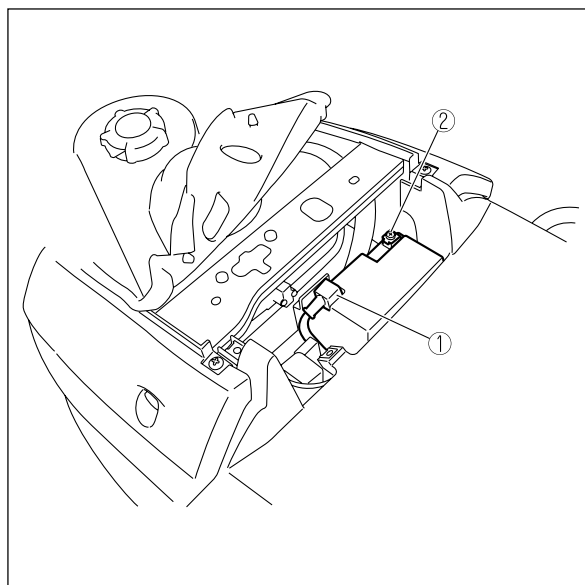
- ステア①
- ワッシャ②
- ナット③ 9Nm (0.9kg・m)
- カバー④
- ブレード、ワイパー⑤
- アーム、ワイパー⑥
- クリップ⑦
- ナット、フランジ⑧ 14Nm (1.4kg・m)
- アームカバー大⑨
- アームカバー小⑩

要 点

ブレード、ワイパーが図の位置になるように組付ける。

注 意

ワイパーモーター破損の原因となるのでナット③の締付けは、特に注意して規定のトルクで締付けること。



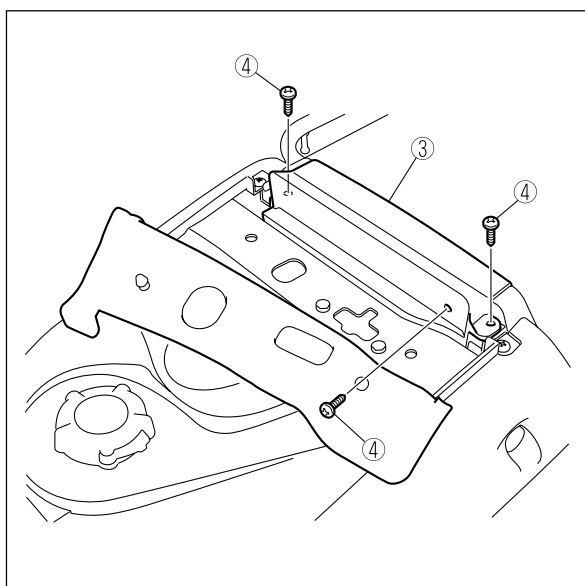
バッテリーリードの組付け

1. 以下の部品を組付けます。

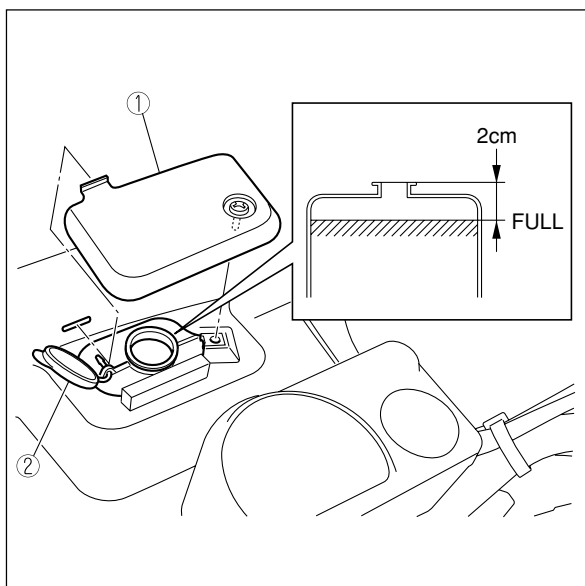
- バッテリー⊕リード①
- バッテリー⊖リード②
- カバー③
- スクリュ、タッピング (φ5×16) ④ 2Nm (0.2kg・m)

要 点

必ず⊕リードから組付ける。



各部の調整方法



ウォッシャー液の補給

リッドアセンブリ①を取外し、キャップ②を外して補給します。

ウォッシャー液は市販のものを使用し原液は使用するウォッシャー液の示す割合に水で薄めます。

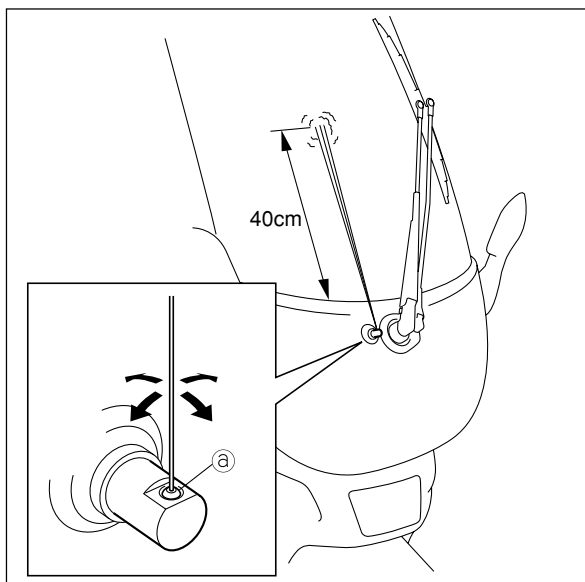
タンク容量：1.5 l

要 点

- ウォッシャー液がタンクの口元からあふれないように注意して補給する。あふれたときはすぐに拭き取る。
- 補給後はキャップを確実に取付ける。

注 意

ウインドスクリーンや塗装面に悪影響を及ぼす恐れがあるので、ウォッシャー液以外は使用しないこと。



ウォッシャーノズルの向き調整

ウォッシャー液がウインドスクリーンに正しく飛ばない時は、ウォッシャーノズルの噴出孔①を細い針で正しい方向へ調整します。

要 点

車両停止時にスタンドを解除し、1名乗車状態でウォッシャーを作動させた時、カウリングアセンブリ端面から40cmの位置にウォッシャー液が飛ぶように調整する。

各部の点検方法

ワイパーが作動しない場合は次の順序で点検します。

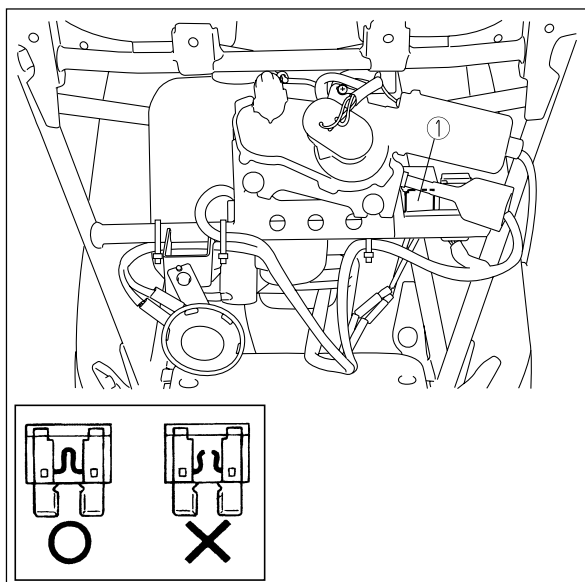
1. フューズ点検
2. ワイヤハーネスの断線およびカプラの接触不良の点検
3. スイッチ（ワイパー）の点検
4. ワイパーモーターの点検

ワイパーが正しい位置に停止しない場合は次の順序で点検します。

1. スイッチ（ワイパー）の点検
2. ワイパーモーターの点検

ウォッシャー液が噴出しない場合は次の手順で点検します。

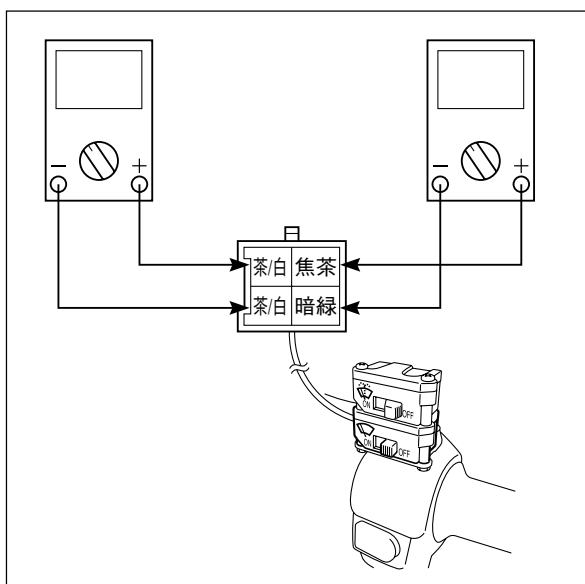
1. ウォッシャー液の容量の点検
2. ウォッシャーノズルの詰まり、ウォッシャーホースの詰まり・折れの点検
3. フューズ点検
4. ワイヤハーネスの断線およびカプラの接触不良の点検
5. スイッチ（ウォッシャー）の点検
6. ウォッシャーモーターの点検



フューズの点検

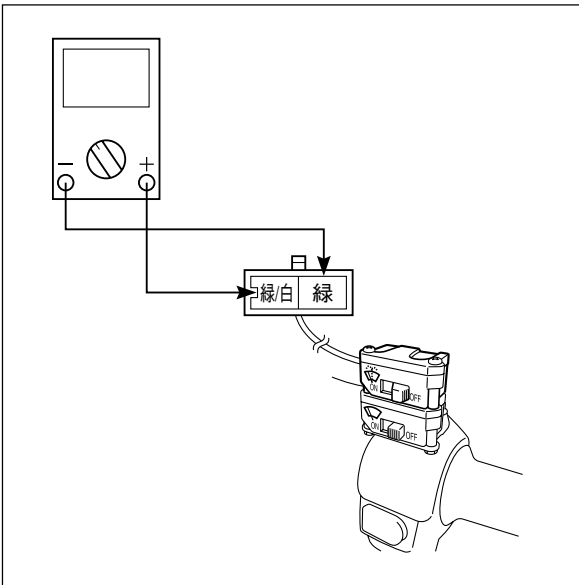
フューズはフューズホルダ①にセットされています。フューズが切れている場合は、原因を調べてから新しいフューズに交換します。

規定フューズ：5A



スイッチ（ワイパー）の点検

1. 以下の点検をします。
 - スイッチ（ワイパー）導通
 - テスト⊕リード→焦茶端子
 - テスト⊖リード→暗緑端子
- スイッチが『ON』の時に導通があり、『OFF』の時に導通がなければ良好
- テスト⊕リード→茶/白端子
 - テスト⊖リード→茶/白端子
- スイッチが『ON』の時に導通がなく、『OFF』の時に導通があれば良好
- 上記点検で異常がある場合スイッチ（ワイパー）を交換する。



スイッチ（ウォッシャー）の点検

1. 以下の点検をします。

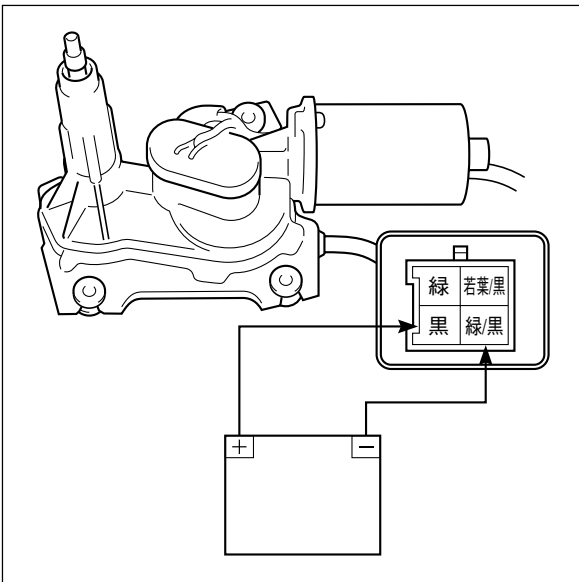
- スイッチ（ウォッシャー）導通

 テスト⊕リード→緑 / 白端子

 テスト⊖リード→緑端子

スイッチが『ON』の時に導通があり、『OFF』の時に導通がなければ良好

上記点検で異常がある場合スイッチ（ウォッシャー）を交換する。



ワイパーモーターの点検

1. 以下の点検をします。

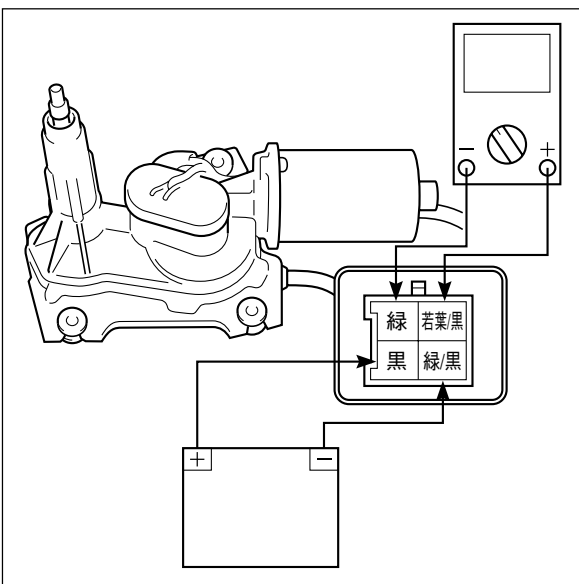
- ワイパーモーター作動

 バッテリー⊕→黒端子

 バッテリー⊖→緑 / 黒端子

バッテリーを接続した時にワイパーモーターが作動すれば良好

上記点検で異常がある場合ワイパーモーターを交換する。



2. 以下の点検をします。

- ワイパーモーター導通

 バッテリー⊕→黒端子

 バッテリー⊖→緑 / 黒端子

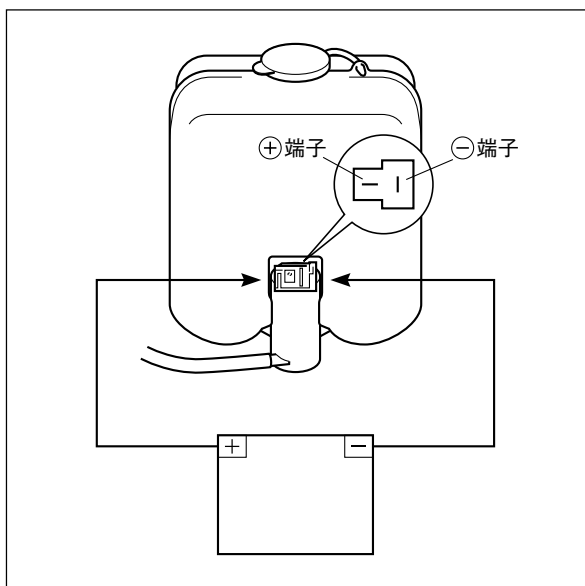
 テスト⊕リード→若葉 / 黒端子

 テスト⊖リード→緑端子

バッテリーを接続した時に若葉 / 黒—緑端子間で導通あり、なしを繰り返せば良好

上記点検で異常がある場合ワイパーモーターを交換する。

各部の点検方法



ウォッシャーポンプの点検

1. 以下の点検をします。

●ウォッシャーポンプ作動

バッテリー⊕→⊕端子

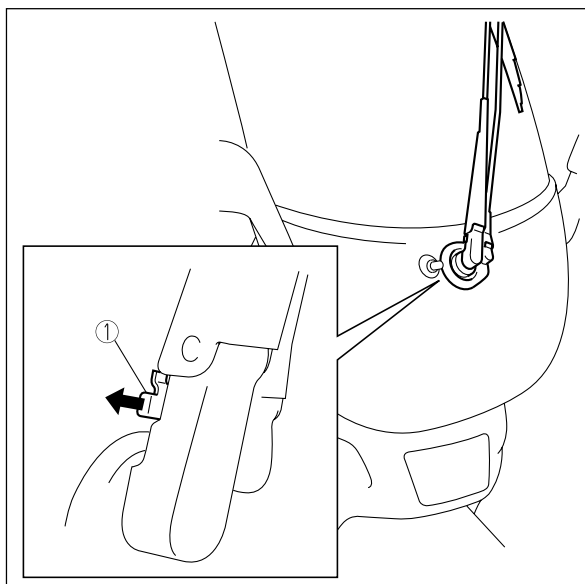
バッテリー⊖→⊖端子

バッテリーを接続した時にウォッシャーポンプが作動すれば良好

上記点検で異常がある場合ウォッシャーポンプを交換する。

注意

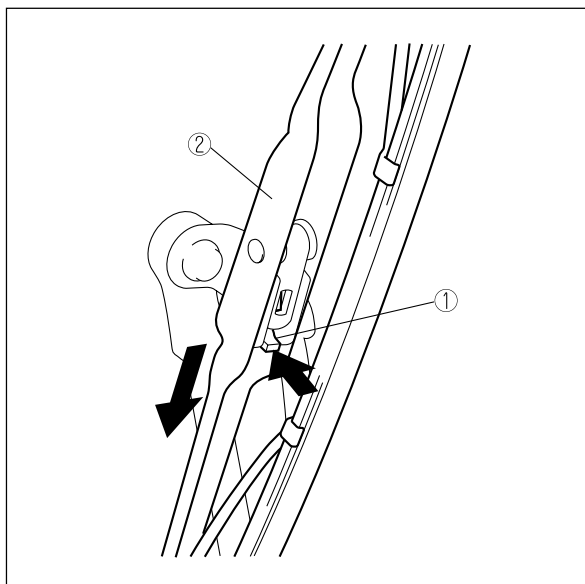
ウォッシャー液が空の状態ではバッテリーを接続しないこと。ウォッシャーポンプの故障の原因となる。



ワイパーゴムの点検

ワイパーゴムにヒビ割れなど劣化が見られる場合は新しいブレード、ワイパーに交換します。

1. ワイパーを手前に持ち上げながらストッパー①を引いてワイパーをウインドスクリーンより浮かせます。

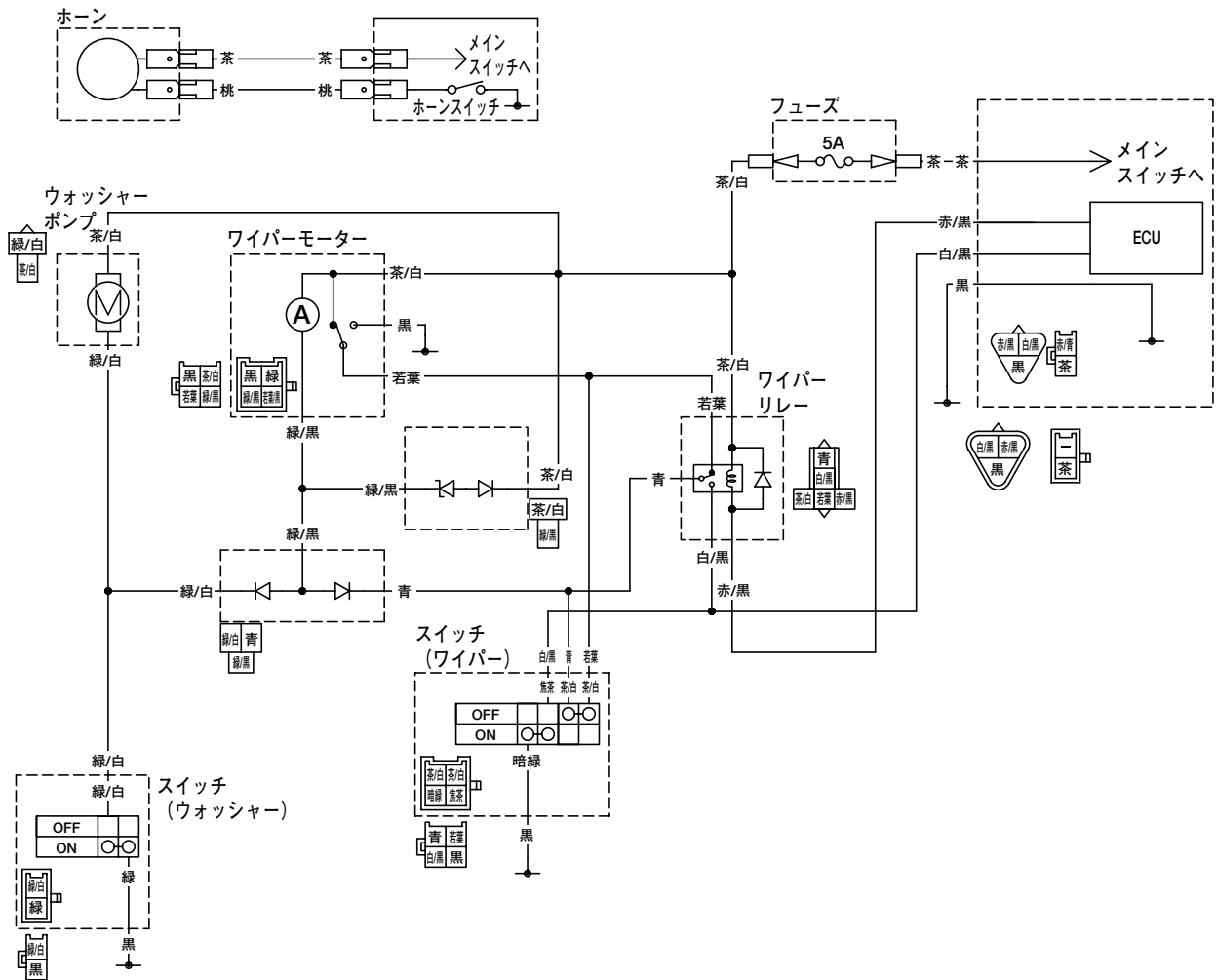


2. ストッパー①を押しながらブレード、ワイパー②を引き抜き新しいブレード、ワイパーに交換します。

注意

ウインドスクリーンに傷が付かないように注意すること。

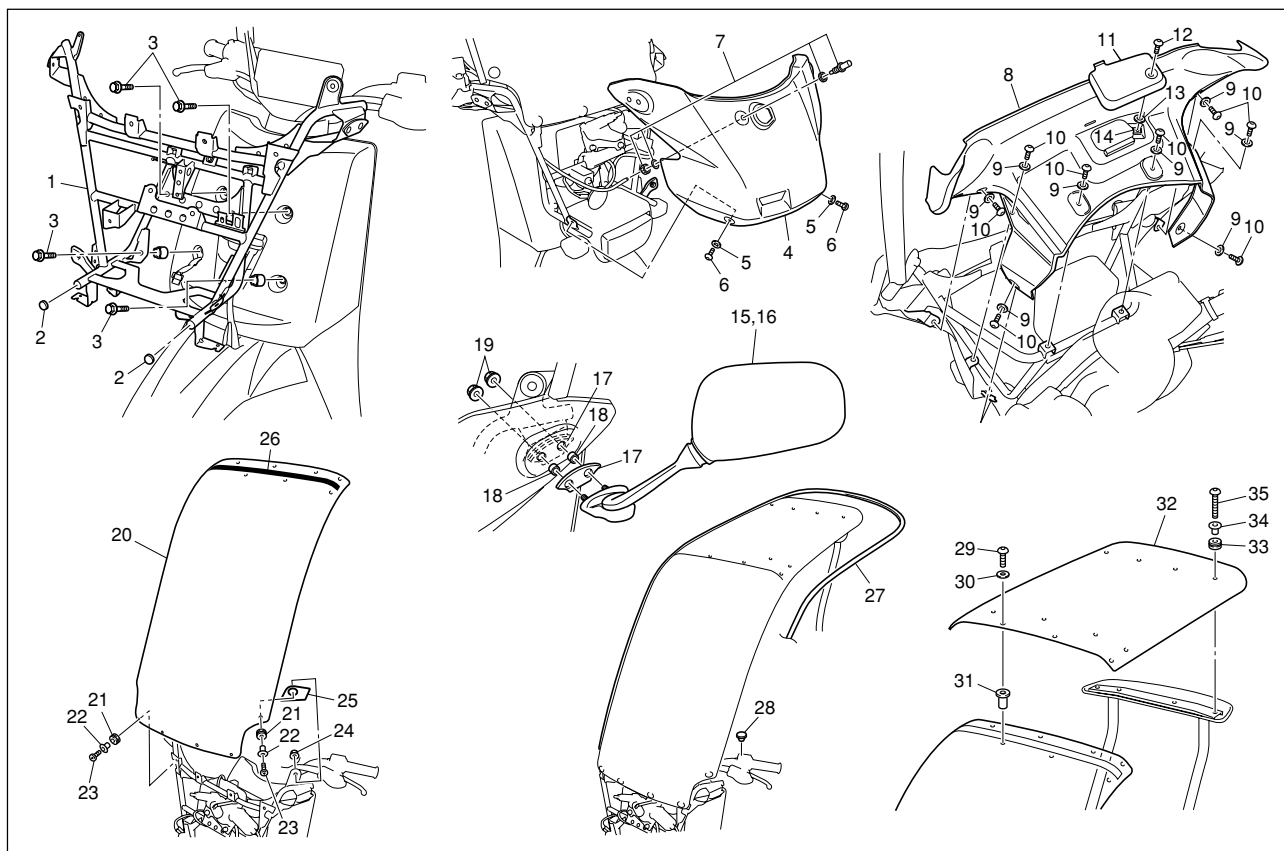
電装配線図



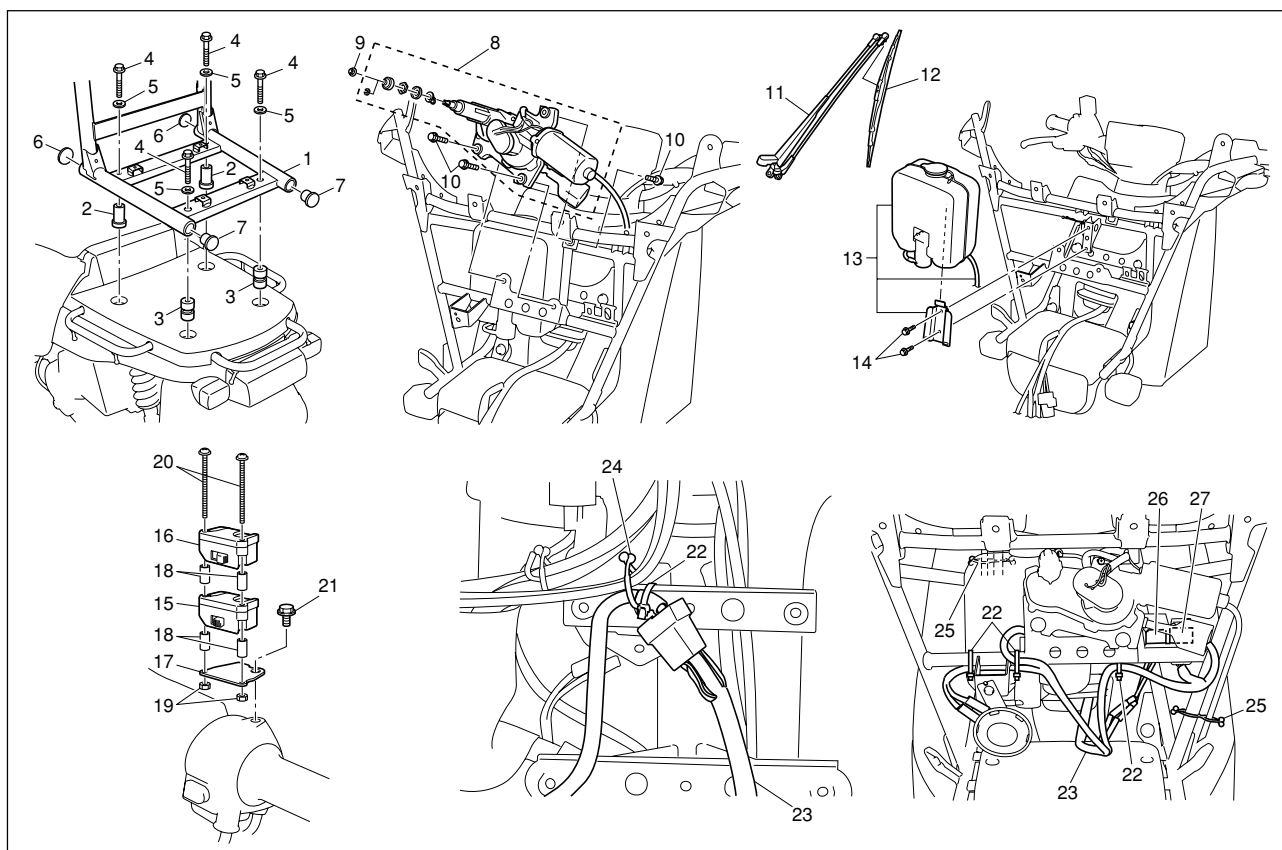
パーツカタログ

パーツカタログのご利用について

1. 部品をご注文の際は、本パーツカタログをご参照の上、部品番号、部品名、個数を正確にご指示ください。
2. 部品のご注文先は部品により(株)ワイズギアとヤマハ発動機(株)部品営業に分かれます。見出番号の欄に“*”印のついた部品は(株)ワイズギアへ、ついていない部品はヤマハ発動機(株)部品営業へご注文ください。



見出番号	部品番号	部品名	個数	見出番号	部品番号	部品名	個数
1*	Q5K-YEC-10B-002	ステー, 1	1	18	90387-064T3	カラー	4
2*	Q5K-YEC-10B-003	キャップ	2	19	95707-06500	ナット, フランジ	4
3	95817-08045	ボルト, フランジ	4	20*	Q5K-YEC-10B-007	ウインドスクリーン	1
4*	Q5K-YEC-10B-004	カウリングアセンブリ (STD)	1	21	90480-15363	グロメット	6
	Q5K-YEC-10B-021	カウリングアセンブリ (ピザハット)	1	22*	Q5K-YEC-10B-008	カラー	6
5	90201-06078	ワッシャ, プレート	2	23	92017-06025	ボルト, ボタンヘッド	6
6	90110-06200	ボルト, ヘキサゴンソケットヘッド	2	24	90176-06008	ナット, キャップ	2
7*	Q5K-YEC-092-053	ノズル	1	25*	Q5K-YEC-10B-009	プレート, ラバー-5	2
8*	Q5K-YEC-10B-005	コンソールパネルアセンブリ	1	26*	Q5K-YEC-092-020	ダンパー	1
9	90202-06001	ワッシャー, プレート	8	27*	Q5K-YEC-10B-011	モール, 2	1
10	92017-06014	ボルト, ボタンヘッド	8	28	90338-07124	ブラグ, ブラインド	1
11*	Q5K-YEC-10B-006	リッドアセンブリ	1	29*	Q5K-YEC-092-019	スクリュ	9
12	90167-05055	スクリュ, タッピング	1	30	90202-06113	ワッシャ, プレート	9
13	90202-04182	ワッシャ, プレート	1	31	90179-06520	ナット	9
14	90183-05042	ナット, スプリング	1	32*	Q5K-YEC-10B-010	パネル, 1	1
15	13S-26280-00	バックミラーアセンブリ (レフト)	1	33	90480-15363	グロメット	4
16	13S-26290-00	バックミラーアセンブリ (ライト)	1	34*	Q5K-YEC-10B-008	カラー	4
17*	Q5K-YEC-10B-012	プレート	4	35	92017-06025	ボルト, ボタンヘッド	4



見出番号	部品番号	部品名	個数	見出番号	部品番号	部品名	個数
1*	Q5K-YEC-10B-016	キャリアフレームアセンブリ	1	20*	Q5K-YEC-092-060	スクリュ	2
2*	Q5K-YEC-10B-017	カラー	2	21*	Q5K-YEC-092-061	ボルト	1
3*	Q5K-YEC-10B-018	カラー, 2	2	22	1UA-82591-00	バンド	4
4	95817-08055	ボルト, フランジ	4	23*	Q5K-YEC-10B-013	ワイヤ, リード1	1
5	90201-08753	ワッシャ, プレート	4	24	90464-30040	クランプ	1
6	90338-27007	プラグ	2	25	90464-17184	クランプ	2
7*	Q5K-YEC-10B-019	プラグ	2	26*	Q5K-YEC-10B-015	フェーズホルダアセンブリ	1
8*	Q5K-YEC-092-049	ワイパーモーターアセンブリ	1	27	5DM-81950-00	リレーアセンブリ	1
9	95707-08500	ナット, フランジ	1				
10	95807-06016	ボルト, フランジ	3				
11*	Q5K-YEC-092-050	アーム, ワイパー	1				
12*	Q5K-YEC-092-051	プレート, ワイパー	1				
13*	Q5K-YEC-092-052	タンクアセンブリ	1				
14	95807-06010	ボルト, フランジ	2				
15*	Q5K-YEC-092-056	スイッチ (ワイパー)	1				
16*	Q5K-YEC-10B-020	スイッチ (ウォッシャー)	1				
17*	Q5K-YEC-10B-014	プレート	1				
18*	Q5K-YEC-092-059	カラー	4				
19	95307-03600	ナット	2				

仕様諸元

名称	YAMAHA GEAR ルーフキット (Q5K-YEC-10B-001)
全長	1850 mm
全巾	680 mm
全高	1730 mm
最低地上高	104 mm
車両重量 (装備重量)	123 kg

※ YAMAHA GEAR にルーフキットを装着した時の参考値です。

点検整備項目

点検項目	点検の内容	整備の内容
ウォッシャー液	ウォッシャー液の量が十分か。	ウォッシャー液の補給
ウォッシャーの作動	ウォッシャー液がウインドスクリーンに正しく飛ぶか。	本書「各部の点検方法」参照の上、異常がある場合は部品の交換
ワイパーゴム	ワイパーゴムにヒビ割れなどがいないか。	ブレード、ワイパー交換
ワイパーの作動	ワイパーが作動するか。	本書「各部の点検方法」参照の上、異常がある場合は部品の交換
ウインドスクリーン・パネル, 1	取付けにガタがないか。傷、汚れがないか。	増締め、傷がある場合交換

YAMAHA GEAR ルーフキット

組立・点検説明書

2008年6月発行

不許複製

編集発行

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚3622-8

YAMAHA GEAR

ルーフキット取扱説明書

まえがき	1
取扱い上の注意事項	2
各部の名称	3
各部の操作方法	4
仕様諸元	6
簡単な点検整備	6

ご使用前に

ご使用前に『取扱説明書』を必ずお読みください。お読みの後は、いつでも参照できるように保管しておいてください。

まえがき

YAMAHA GEARルーフキットをご購入いただきありがとうございます。

この取扱説明書はYAMAHA GEARルーフキットの取扱いについて説明してあります。

なお、仕様変更などにより、図や内容がお求めいただいた製品と一致しない場合があります。ご了承ください。

- ベース車両(GEAR)の取扱いについては『YAMAHA GEAR 取扱説明書』をご覧ください。
- 本製品はパーキングスタンド装着車のYAMAHA GEAR「BX50S」にのみ装着可能です。「BX50S」以外への使用はできません。

本書では正しい取扱いおよび組立・点検・調整に関する必要事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 一取扱いを誤った場合、死亡、重傷、傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 一取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要点 一正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

取扱い上の注意事項

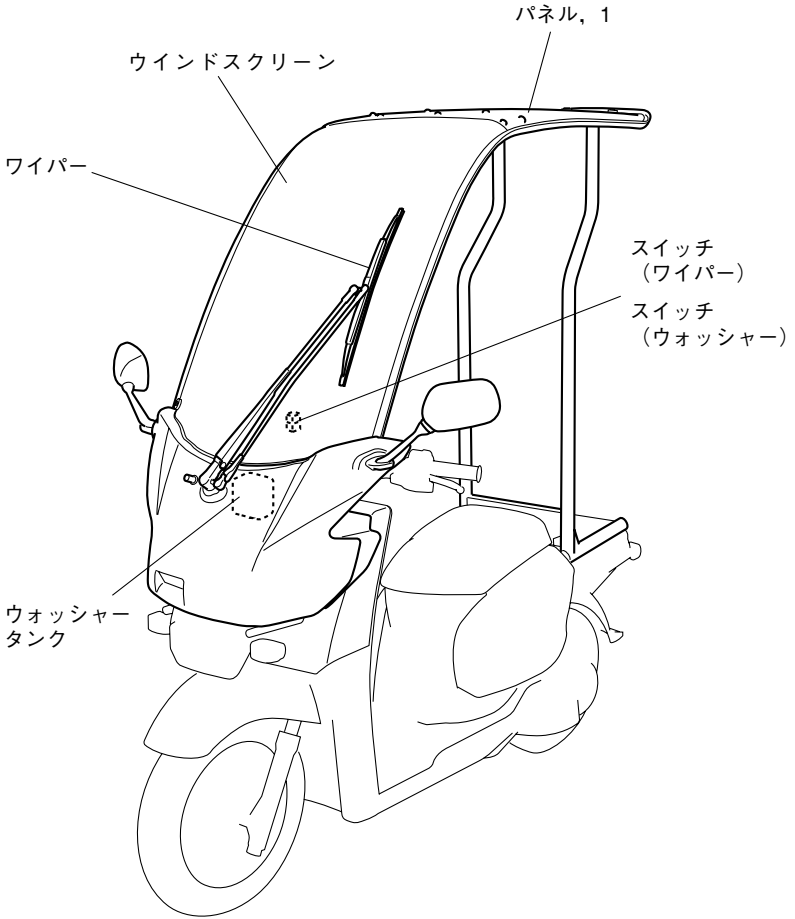
警告

- 乗車の時、ヘルメットがパネル、1に当たらないように注意してください。
- カーブで車体を傾ける時、パネル、1が電柱や標識などに接触しないように注意して走行してください。
- 風の強い日など、横風を受けると走行が不安定になります。スピードは控えめに走行してください。また雨天の走行も注意して走行してください。
- 車体の全高は1.73mです。トンネルなど高さに制限がある場所を通る時は注意してください。
- 汚れや傷の付いたウインドスクリーンで、走行しないでください。視界の妨げになりますので、汚れたウインドスクリーンは汚れを落とし、傷の付いたウインドスクリーンは新しいパーツに交換してください。
- ウインドスクリーンと車体の間に物を置かないでください。ハンドル操作に悪影響を及ぼします。
- お車を安全、快適にご使用いただくために、「簡単な点検整備」の項目を参照し点検を実施してください。

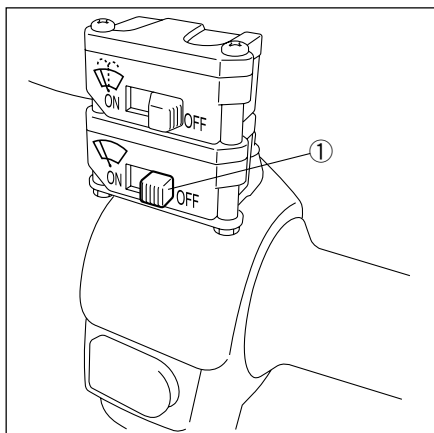
注意

- 車両を押して移動する時には、ウインドスクリーンやパネル、1を持って移動しないでください。ウインドスクリーンやパネル、1に無理な力が加わると損傷する恐れがあります。
- 風の強い日は車体が倒れるのを防ぐため、風の影響がない安全な場所に駐車してください。また、雪の日に軒下など雪や氷柱が落ちてくる可能性がある場所には駐車しないでください。
- ウインドスクリーンにシールやアクセサリなどを、取付けしないでください。視界の妨げになるばかりか、アクセサリの吸盤がレンズの作用をして火災の原因になる恐れがあります。
- 長期間ワイパーを使用しなかったり、凍結などによりワイパーゴムがウインドスクリーンに張り付くことがあります。ワイパーゴムがウインドスクリーンに張り付いた状態でワイパーを作動させないでください。ワイパー故障の原因となります。
- 汚れや傷の付いたワイパーゴムは使用しないでください。汚れたワイパーゴムは汚れを落とし、傷の付いたワイパーゴムは新しいパーツに交換してください。
- アルカリ性及び酸性のクリーナー、ガソリン、ベンジン、シンナー、プレーキ液等は絶対に使用しないでください。汚れは、中性洗剤を水道水で薄め柔らかい布またはスポンジで拭き取ってください。

各部の名称



各部の操作方法

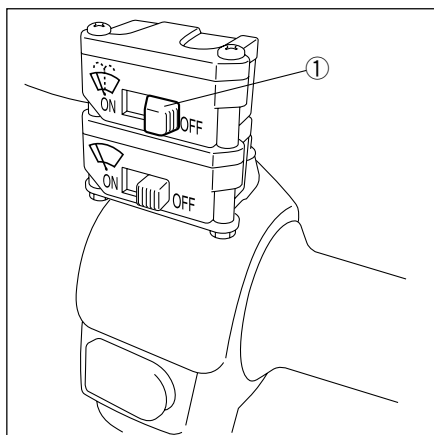


1. スイッチ (ワイパー)

スイッチ (ワイパー) ①を『ON』の位置にするとワイパーが作動します。アイドリング時は間欠作動、走行時は連続作動します。

注意

ウインドスクリーンに水分 (雨、ウォッシャー液など) がない状態でワイパーを作動させないこと。ウインドスクリーンに傷を付ける恐れがある。

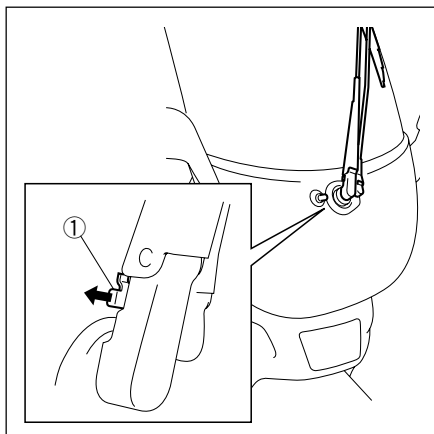


2. スイッチ (ウォッシャー)

スイッチ (ウォッシャー) ①を『ON』の位置にしている間ウォッシャー液が噴出し、ワイパーが作動します。

注意

- 5秒以上連続して使用しないこと。またウォッシャー液が空のときは使用しないこと。ウォッシャーポンプの故障の原因となる。
- 寒冷時ウォッシャーを使用すると、ウインドスクリーンに吹き付けられたウォッシャー液が凍結し視界の妨げになる場合があるので注意すること。凍結した場合、ぬるま湯で解凍し凍結を取り除いてから、走行してください。

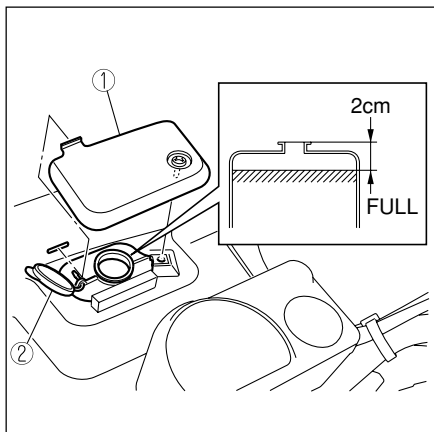


3. ワイパーの取扱い

長期間、乗らない場合はワイパーを手前に持ち上げながらストッパー①を引いてワイパーをスクリーンより浮かせた状態にしてください。

注意

走行する際は、必ずストッパーを解除すること。ワイパーを浮かせた状態で走行すると、ストッパーの破損やフロントスクリーンに傷を付ける恐れがある。



4. ウォッシャー液の補給

リッドアセンブリ①を取外し、キャップ②を外して補給します。

ウォッシャー液は市販のものを使用し、原液は使用するウォッシャー液の示す割合に水で薄めます。

タンク容量：1.5 l

要 点

- ウォッシャー液がタンクの口元からあふれないように注意して補給する。あふれたときはすぐに拭き取る。
- 補給後はキャップを確実に取付ける。

注 意

ウインドスクリーンや塗装面に悪影響を及ぼす恐れがあるので、ウォッシャー液以外は使用しないこと。

仕様諸元

名称	YAMAHA GEAR ルーフキット (Q5K-YEC-10B-001)
全長	1850 mm
全巾	680 mm
全高	1730 mm
最低地上高	104 mm
車両重量 (装備重量)	123 kg

※ YAMAHA GEAR にルーフキットを装着した時の参考値です。

簡単な点検整備

お車を安全、快適にご使用いただくために下記の点検整備を実施してください。

点検項目	点検の内容	整備の内容
ウォッシャー液	ウォッシャー液の量が十分か。	ウォッシャー液の補給
ウォッシャーの作動	ウォッシャー液がウインドスクリーンに正しく飛ぶか。	販売店で整備を受けてください。
ワイパーゴム	ワイパーゴムにヒビ割れなどがいないか。	販売店で整備を受けてください。
ワイパーの作動	ワイパーが作動するか。	販売店で整備を受けてください。
ウインドスクリーン・パネル, 1	取付けにガタがないか。 傷、汚れがないか。	販売店で整備を受けてください。汚れがある場合は、汚れを落としてください。

⚠ 警告

販売店での整備が必要なものは、必ず販売店で行うこと。

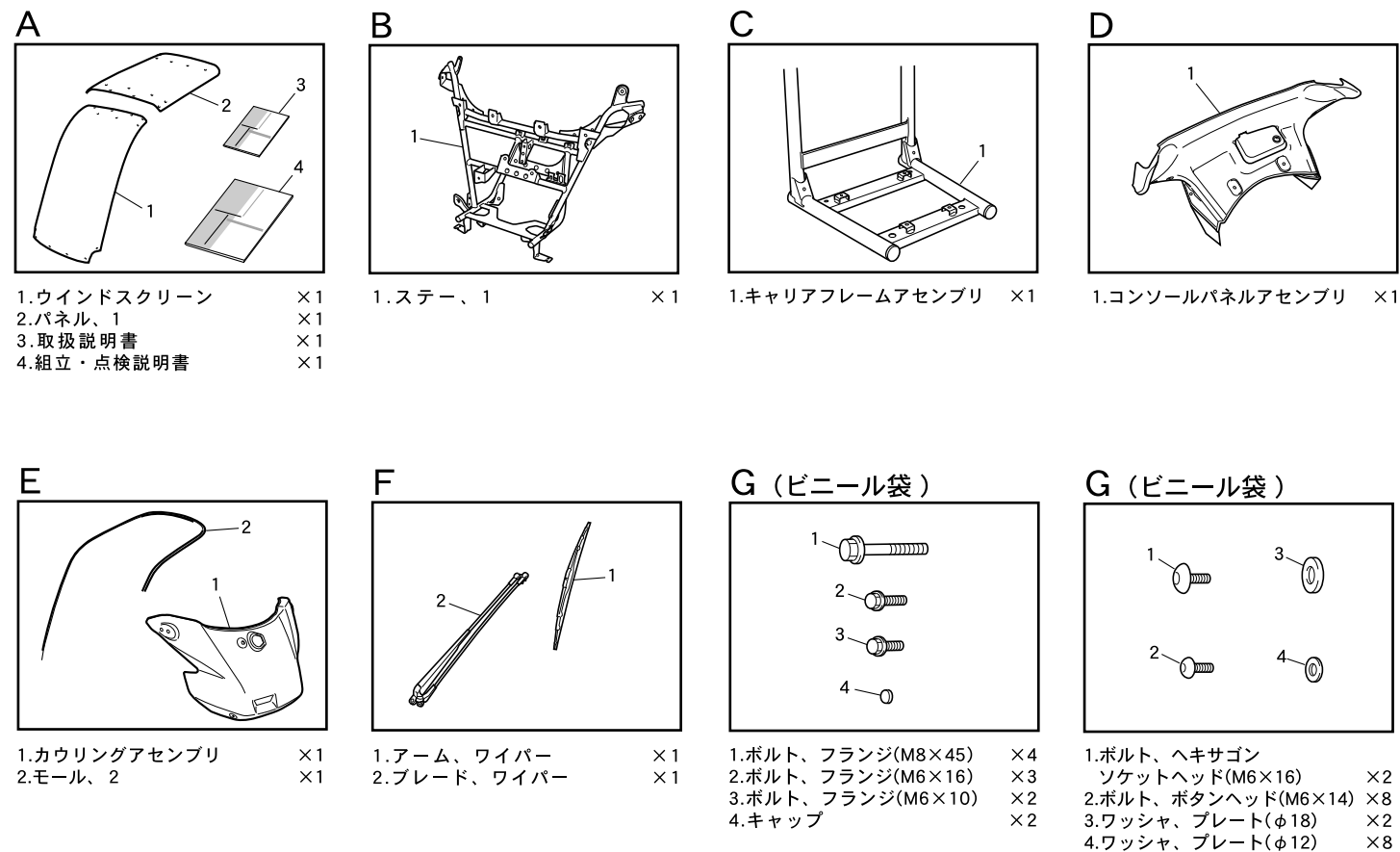
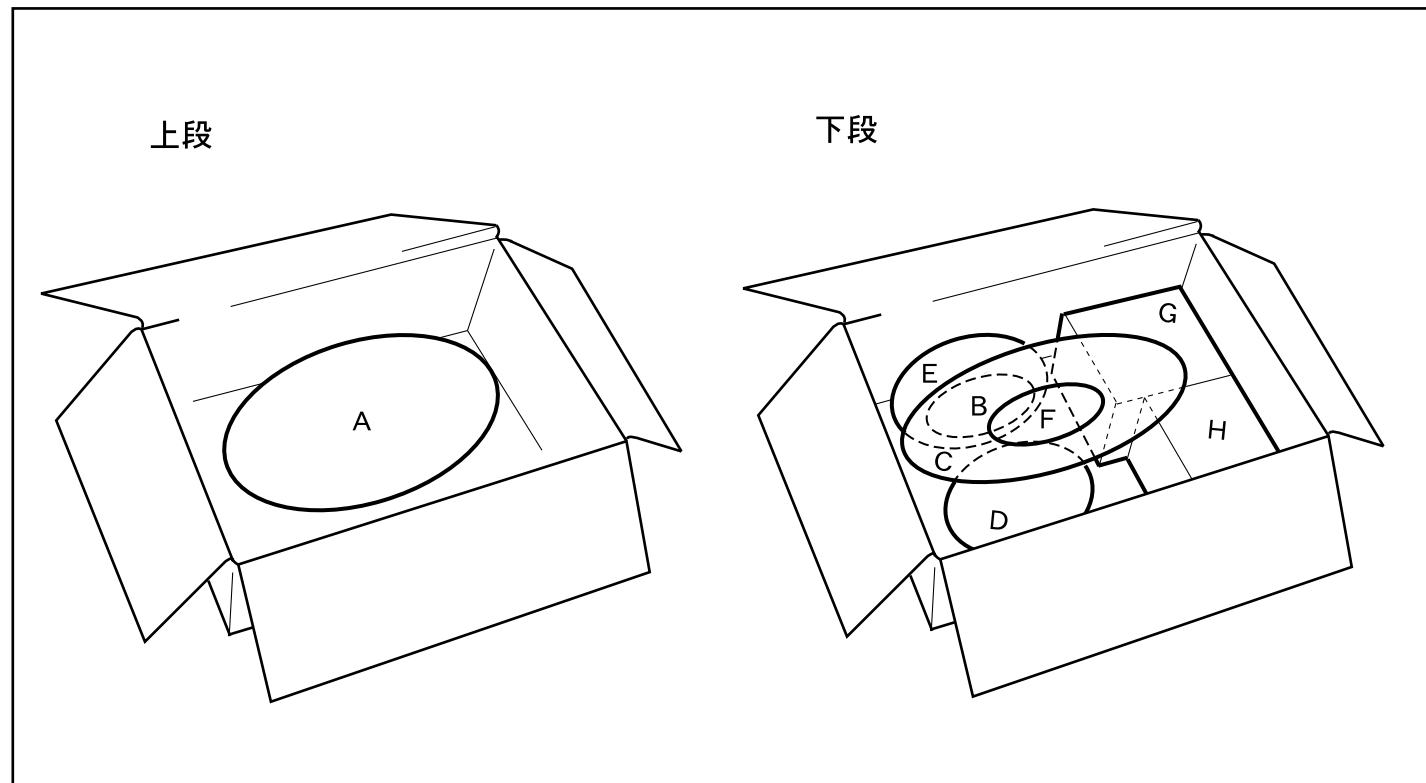
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚 3622-8

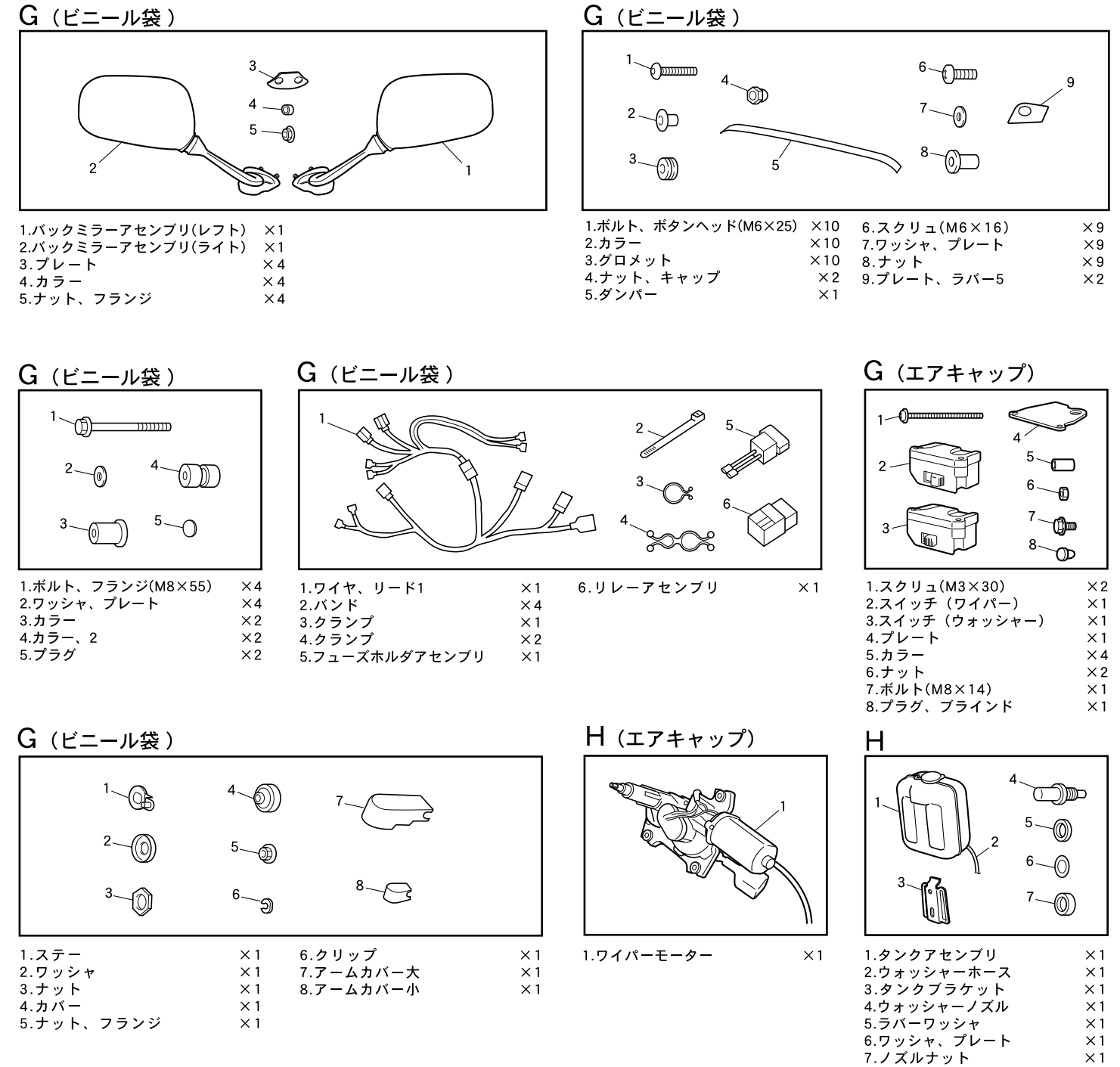
製品の内容

YAMAHA GEAR ルーフキット

YAMAHA GEAR ルーフキットの梱包を開けたら、最初に次のパーツが全て揃っているか確認してください。また、不足パーツ等ありましたら本製品ご購入元までお問い合わせください。



*. 部品名称 (ネジ径×ネジ長さ) ×個数



*. 部品名称 (ネジ径×ネジ長さ) ×個数

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社